

芙蓉会会報

編集・発行人 明倫学園 芙蓉会

第28号

明倫学園 芙蓉会

〒240-0023
横浜市保土ヶ谷区岩井町447番地
TEL: 045-731-4361(代)
FAX: 045-716-0202
http://www.y-seifu.ac.jp/

印刷所 合資会社 横浜大気堂
横浜市中区真砂町4-40
TEL: 045-641-4161
FAX: 045-681-0957

新校舎落成式 横浜清風高校の明日に向けて



芙蓉会会長
石渡 富美子



昨年の秋、創立九十周年記念と新校舎落成式が行なわれました。丘の上に明るく伸びやかな校舎が建ち、その中からは元気な生徒達の声が響いてきます。

校舎は本館と南館とに分かれ、本館は教育関係の施設と明るい食堂や図書室、グリーンホールなどがあり、生徒が気軽に話し合えるラウンジなどもあります。本館は三十メートルと長い校舎なので、緑溢れる周回道路では、トレーニングの場所に利用したり、友達と散策したり楽しんでいます。

屋上にはテニスやハンドボールなどが利用できるコートが三面あり、富士山も眺められます。南館はアリーナやスポーツ施設や化学実験なども出来る教室。本当に羨ましい校舎です。

横浜清風高校になって十三年になり、新校舎建設に力を注いでくださった川口益生理事長が退任され、藤井義章先生が新理事長に就任、さらには枝匡輔校長が退職、新たに齋藤一先生が

校長として着任されました。

学校に行きますと、生徒が「コンニチワ」と元気な声で挨拶をしてくれます。明るく楽しい清風にいらしてください。

ご挨拶

理事長 藤井義章



今般、川口前理事長の後を受けて本学園第十代の理事長に就任いたしました藤井義章と申します。小納は前理事長と同様、高野山真言宗に僧籍を置き、本校と縁の深い増徳院の住職でもあります。増徳院と聞いてご記憶のある方もあろうかと思いますが、先代任職が理事長時代の昭和五十年頃から平成の初頭にかけて卒業式直前『阿字観の実修』に使われた修養道場があつ

た寺院であります。その道場は旧明倫学園大岡時代の講堂兼体育館(玉寶講堂)を移築したものでしたが、残念ながら老朽化のため、八年前に解体されました。

この度、ご縁のある本学園の理事長を引き受けるにあたり、仏教を礎とした建学の精神を再認識し、仏教の理想とする人間完成をめざすべく生徒一人一人に対し、きめ細かい教育を実施していきたいと考えております。

本年度より、新校長に齋藤一先生を招請し、二人三脚で学校の向上、発展に尽力いたすつもりでございます。

今後とも、より一層のご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

合掌

石榴の実にあやかっ

校長 齋藤 一



今年も自宅の庭の石榴が朱色の花や小さな実をつける季節が到来しました。

昨年、その光景と共に退職後の様子を同窓会誌「芙蓉」の紙面をお借りして報告させていただいたところ、私の家から約百メートルの同窓生から、北海道の同窓生まで全国各地でご活躍の皆さんから励ましの言葉を頂きました。皆さんの励ましにより、療養を重たくなくなった体を動かすべく、ご縁を頂き、今年の四月一日より校長に着任することになりました。

退職時は、長い間の教員生活からのギアチェンジがうまくいかず、生来のせっかちさが邪魔をして、何かをしなければ落ち着かないという症候群にも苛まれました。しかし、病気とは気長に付き合わなければならず、焦らず通院生活を続け、現在に至っております。

石榴の花の色のごとく、鮮烈に皆さんの清風に色濃く己を記すつもりはありませんが、子宝の鬼子母神の持つ石榴の枝、魔除け・子孫繁栄の仏孔雀明王の持つ石榴の実にあやかり、清風の繁栄のために、ご恩返しができる日々願っています。

合掌



お世話になった先生方（退職者）

校情

前校長 是枝 匡輔



本校の創立九十周年記念式典と新校舎落成記念式典が、昨年の十一月に生徒を含めた関係者が集い、盛大に挙行されました。その時に、ふと心に浮かんだ言葉が「校情」なのです。この言葉は、どの辞書にも載っていません。この両式典に際し、卒業生の皆様からご寄付を頂きました。誠にありがとうございます。

仲間を思う気持ちが「友情」。人を思う気持ちが「愛情」。人を慕う気持ちが「慕情」。お互いが思いやる気持ちが「人情」です。本校卒業生が何年たつても母校を思い、母校に気持ちを寄せ心か「校情」という言葉を生んだと思っています。

また、芙蓉会の本部からも多大なご寄付があり、感謝しております。これからも芙蓉会の発展と隆盛を願っています。五年間お世話になりました。ごきげんよう、さようなら！

- 山坂 旭 成 (常勤講師)・数字
- 田所 智 恵 (非常勤講師)・保体
- 長 橋 一 寿 (非常勤講師)・数字
- 佐 藤 萌 (非常勤講師)・英語

退職の

ご挨拶

小篠 隆



三十七年間の教員生活を大過なく勤めることができましたこと、同窓会の皆様はじめ学園関係者のご支援のお蔭と感謝いたしております。思えば苦難の時代もありましたが、校名変更、男女共学化など同窓会の皆様のご理解・ご協力もいただき、学園一丸となり学校改革に取り組み、昨年度は新校舎落成・創立九十周年記念を迎えられたことを改めてお慶び申し上げます。



- 竹 腰 健 一 郎 (非常勤講師)・英語
- 市 川 真 吾 (非常勤講師)・理科
- 脇 本 賢 一 (非常勤講師)・英語
- 猿 渡 義 弘 (非常勤講師)・英語

私の

「個人遺産」

高橋 勝



退職を機に、私は個人遺産（通称ガラクタ、我が家では私の部屋でのみ存在が許される）の整理を始めた。気がかりだった昆虫標本の中に二月三日付ラベルの付いたスズメバチがあった。そういう、生徒の家にスズメバチが巣をつくって相談を受けたことがある。冬まで待てば、中が空になるからと答えて、冬に掛けて取り外し、しばらく自宅に置いてあった。晴れて室温の上がったその日、空の筈のその巢から、のそのそ出てきたあの二匹だ（巣は生物室に飾ってある）。

校庭に穴を掘り、わが子のために獲物を引き込み産卵していたアナバチ、授業中に出現したコメツキにも、その日の日付が記録されている。その他、学級通信や文集、手紙類も残っていた。当然、財産価値はない。私個人の教員生活の中で、それぞれの物件に立ち会い、生徒と共有した時間が凝縮されている全く主観的な「個人遺産」なのである。

創立九十周年・校舎落成記念式典を終えて



写真提供：清水一二

創立九十周年にあわせ、全校舎建て直しの為に三年間を費やし、立派な校舎棟とアリーナ棟が完成した。

それを記念して、昨年の十一月七日は、生徒対象に記念式典と女性宇宙飛行士の山崎直子氏を迎え【宇宙、人、夢をつなぐ】をテーマに講演が行われ、生徒たちも目を輝かして聴いていた。翌日の八日には高野山関係・真言宗関係の学校・県内の中学、高校・進路先・企業・同窓生など多くの来賓がアリーナに参列し、記念式典が挙行された。来賓の方々を前に代表クラスの生徒による校歌披露、吹奏楽部の演奏、ダンス部のパフォーマンスが記念式典を盛り上げた。また、生徒ボランティアによる校内見学案内など、生徒たちの暖かい「おもてなし」が好評だった。午後はランドマークのホテルに場所を移し、祝賀会が行われた。スライド上映やゲストや生徒の木管五重奏の演奏などで祝賀会場のムードを盛り上げた。このような大きな場において、立派に務めを果たしている生徒たちの姿に触れ、頼もしく感じられた。

生徒より公募したイメージキャラクター

フウちゃん セイフンくん

母から子へく時を超えてく

◆昭和五十八年三月卒業

竹田英子(旧姓・木戸)

三年前の東日本大震災直後に、娘が母校に入学しました。受験時の説明会に参加した時、何十年ぶりに登る坂や円形校舎、私の担任だった北井喜久雄先生はじめ、当時お世話になった先生もまだいらつしやり、とても懐かしく思いました。プレハブになったり、新校舎が完成したり……その前に男女共学になったりもしているのですが、学校の雰囲気は不思議と当時と同じ気がしました。娘を入学させて良かったのは、何と云ってもこの学校の雰囲気です。やさしい担任の森井真裕美先生にも良くしていただき、私と共通の話題(清風特有の勤行や仏教授業)もあり、横浜清風にして良かったと、娘も振り返っています。娘が入学したことによって、また母校に行く機会ができましたが、足が遠くなっている方も、明倫の校歌が歌碑になつていたり、同窓会の模擬店には、退職された先生も来られるそうですので、文化祭に足を運ばれると、きつと懐かしい時間が過ごせると思います。新しい校舎の中から「明倫高等学校」を見つけにいらしてください。

◆昭和六十年三月卒業

阿井美佐(旧姓・廣瀬)

私は、昭和六十一年卒業生です。その後、四人の娘を授かり、三番目の娘が二年前に御校を卒業。四番目の娘は、今年入学をしました。私の記憶の中にある母校は、円形校舎に螺旋階段、階段下には大きな丸い石があり、台形の教室でした。そして、私の卒業後二十三年の時が経ち、三番目の娘が入学した年は、ちょうど新校舎へ建設を始めた頃で、円形校舎が無くなる前一年間を、娘は私が学生時代に過ごした時と同じ台形の教室で学ぶ事ができ、とても嬉しく思います。自分が学生の頃は、公立高校とは違い、規律が厳しく、もつと自由に学生生活を送りたいと不満もありましたが、親として子供を学ばせる立場になつて、一番多感な学生時代にこの厳しさを経験する事は、道を踏み外さないために必要だと思ふようになりました。長い時を超えて、姿や名前が変わりましたが、今でも信念を変えず歩み続けている母校を誇らしく思います。そして私自身も親となり、娘を自分の通っていた高校に通わせる事ができています。今を、とても幸せに思っています。

芙蓉会会員の皆様こんにちは。今年、芙蓉会親睦バス旅行を担当させていただきます吉田です。

芙蓉会(同窓会)では、毎年5月の幹事会でバス旅行の日程調節をし、企画へと進めておりますが、昨年は、母校の創立90周年の記念式典と祝賀会が11月に開催されることを考慮し、お休みさせていただきます。

毎年ご参加いただいている会員の方々から「今年は是非開催を!」というご要望も多く寄せられました。誠にありがとうございました。

今年は千葉県銚市の鋸山、ドイツ村を中心にご案内申し上げます。標高329.4mの鋸山は、正式な名称は乾坤山(けんこんざん)といい、鋸山全体が境内の日本寺は、日本寺大仏、百尺観音(一尺30.3cm)、千五百羅漢、地獄のぞきなど見どころ満載です。山麓駅から山頂駅までは、鋸山ロープウェイで登ります。眺望は素晴らしく東京湾一帯から伊豆大島まで見渡すことができます(晴天を祈りましょう)。

ドイツ村は、東京ドームの約27倍の広さで、芝生の丘を中心に、ポート池やアミューズメントエリア、子供動物園、フラワーガーデンのエリアがあり、特に冬季のイルミネーションは規模が大きく、あしががフラワーパーク、江の島(湘南の宝石)と共に「関東三大イルミネーション」に指定されています。

限られた時間の中ですが、皆様との親睦の和が広がりますよう、幹事として頑張りたいと思います。皆様、お気軽にご参加くださいますようお願い申し上げます。

幹事 佐野・吉田

親睦バス旅行



記

- 日時 ▶ 10月19日(日) AM8時20分集合 8時30分出発 集合場所 ▶ 横浜駅西口天理ビル前
- 参加費用 ▶ 7,000円 同窓会補助後の金額です。(バス代・昼食代・入場料(2ヶ所)・ロープウェイ・保険料含む)
- 申込方法 ▶ 横浜清風高等学校 事務室 吉田までご連絡ください。 ☎ 045-731-4361
- ※ 募集定員は40名です。お早目にお申し込みください。

行程

8:30	10:20	10:30	約4分	10:34	10:40	11:50
横浜駅西口天理ビル前	山麓駅	山頂駅	………	鋸山・日本寺散策	=====	
※途中、海ほたるにて休憩						
12:00	13:00	14:00	16:00	18:00		
=====	漁師料理かなや(昼食)	=====	ドイツ村	=====	横浜駅西口天理ビル前	
※途中、海ほたるにて休憩・お買い物						

記入例/バス ===== ロープウェイ~~~~~ 徒歩……………



~平成27年度 生徒募集~

- ◆ 夜間相談会 11月14日(金) 17:30~19:00
- ◆ 学校説明会 10月25日(土) 10:00~12:00
- 11月 8日(土) 10:00~12:00
- 11月22日(土) 午前の部 10:00~12:00
- 午後の部 13:30~15:30
- 12月 7日(日) 午前の部 10:00~12:00
- 午後の部 13:30~15:30

清風祭のご案内

文化祭：10月11日(土) 9:30~14:30

- ◆ お車での来場はご遠慮願います。
- ◆ 校舎内・外“禁煙”です。ご協力ください。

おしるこの模擬店あり



平成25年度 横浜清風高等学校同窓会会計報告書

平成26年度 同窓会会計予算書

収入の部 H26.3.31 (単位:円)

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 収入額, 備考, 備考. Rows include 前年度繰越金, 25年度年会費, 25年度卒業生加入金, etc.

支出の部

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 支出額, 備考, 備考. Rows include 行事費, 慶弔費, クラブ援助費, etc.

残高 table with 3 columns: 残高, 0, 14,655,895, 次年度繰越金

収入の部 H26.4.1 (単位:円)

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 備考, 備考. Rows include 前年度繰越金, 26年度年会費, 26年度卒業生加入金, etc.

支出の部

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 備考, 備考. Rows include 行事費, 慶弔費, クラブ援助費, etc.

上記の通り報告致します。

平成26年3月31日

台帳と相違ないことを確認致しました。

会計監査員

高橋静子 (Signature)

26年度 会費納入のお願い
年会費 1,000円
芙蓉会会報に同封の振込用紙にて、12月末日までに納入、又はご来校の際にご持参ください。

平成25年度 特別会計におきまして記載に誤りがありました。お詫び申し上げますと共に、訂正の程よろしくお願ひ申し上げます。訂正：新校舎建設祝金 21年度～25年度積立合計金額 5,000,000円

Table listing members from 第32回 to 第3回, including names and counts. Includes a total row (総計) and a note about 横浜清風高等学校.

平成二十五年度 会費納入報告 (Report icon)

訃報 (Obituary notice) for 旧職員 山崎 晃先生 (享年九十歳) and 旧職員 横澤敏和先生 (享年四十六歳).

皆様、いかがお過ごしですか。私(旧姓・宮内)は、明倫時代十八期卒業生です。白石先生から箏曲部を引き継いで、早十四年目になりました。近頃の経済状況からか、ここ数年、生徒の中には琴爪の用意が負担になっている人が少なからずいる様です。そこで卒業生の皆様が大切に...

琴爪、ご活躍ですか? (Notice about Kotohime and author 岩崎 栄)